



「自分事」としてやり遂げた 児童会総会に感動!



5月28日(金)に4年生以上による児童会総会が行われました。3年生はアリーナのギャラリーからの参観でした。

この様子については、ホームページの「今日の一コマ」でもお知らせしたところですが、多くの方々に参観していただきたいと思わせるようなすばらしい話し合いが行われました。リーダー、そしてフォロワーともに自分の役割をしっかりと理解し、「自分事」として取り組んでいる姿に感動しました。

このすばらしい児童総会の裏には、各学級、さらには一人ひとりのしっかりとした取り組みがあったことも承知しています。4月中から各学級で話し合いを繰り返している様子を見させてもらっていました。リーダーの皆さんも人知れず努力していたことを聞いていました。そうした努力の積み上げが本番での姿に見事につながったと言えます。

この度は、見事な成果となって終結しましたが、今後もそこに至るまでの経過や取り組み状況をしっかりと見届けながら子どもたちの成長を支援していきたいと思えます。



《小国町特別支援教育巡回相談 ～子どものよりよい学びのために～》

本町では、山形大学大学院教育実践研究科の教授である三浦光哉先生を特別支援教育アドバイザーに委嘱し、特別支援教育に関わる様々なことについて指導・支援をいただいております。

特別支援教育に関わる考え方や手法は、学習指導や生徒指導と並び、教員にとって重要で不可欠なものであります。三浦先生には、今年度も2回、各学校・保育園を巡回して子どもたちの様子を観察していただき、一人ひとりがよりよい学びができるようにご助言等をいただきます。

本校には5月31日(月)においてになり、学級ごと一人ひとりの学習の様子をみていただきました。前回と比べての成長ぶりや気になること等について細やかにご指摘いただきました。子どもたちの実態は、ひいては私達教職員の指導・支援の鏡でもあります。専門家としての的確なご指摘・ご助言に目からウロコが…となる時も少なくありません。

巡回相談の結果をもとに、あらためて292名一人ひとりの力を伸ばしていくための方策を学校全体で考えていきます。保護者の皆様にご相談したり、ご協力をお願いしたりすることもあるかと思えますので、その際はご理解とご協力をくださいますようお願いいたします。

学校運営協議会委員の皆様 よろしくお願いたします!

今年度1回目の学校運営協議会が5月25日(火)に開催される予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から参集しての会議が見送られ、書面での会議となりました。会長・副会長の選出や学校経営方針・重点などの5議案について書面での回答をお願いしたところ、いずれについてもご承認をいただきました。

委員の方々については、昨年度からの継続(任期2年)となりますが、本間富美子氏(小玉川)につきましては新たにお迎えいたしました。委員の皆様には、「学校パートナー」としても本校の教育活動にお力添えをいただくことになるかと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

今年度もコミュニティ・スクールとして、「地域と共にある学校」をめざしてまいりますので、保護者・地域の皆様におかれましてもご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いたします。

【令和3年度小国小学校学校運営協議会委員】

※ 敬称省略

会長	穴沢 洋一	委員	塚原 明広	委員	仁科 憲治
副会長	原田千鶴子	委員	島貫 孝志	委員	本間富美子
		委員	岩井 拓磨	委員	佐藤 優
		委員	五十嵐大二	委員	大津 秀子

ありがとうございます!

子ども見守り隊、読み聞かせ



本校の「学校パートナー」として、子ども見守り隊や読み聞かせ・昔語りの活動がスタートしています。すでに定番の活動となっており、学校としては本当にありがたいことであります。

多くの地域の方々から見守られ、そして、関わっていただくことは、子どもたちの健やかな成長につながっていきます。保護者の皆様はもちろん、できるだけ多くの方々に子どもたちと関わっていただき、「地域総ぐるみ教育」の具現化が一層進んでいくことを望んでおります。



～「学窓から」～ ある日の朝、子どもたちと学年毎に栽培している植物たちをながめっていると、ある女兒が「“まびき”しないと大きくなるんだよ。」と。「へ～、“まびき”なんて言葉よく知ってるね。」と返しましたが、体験したことが知識になったんだろうなと感心しました。

その後、「間引き」にまつわるお話でもないかと、図書室の麻里先生にお願いして本の検索をしていただきましたが、さすがに児童用図書としてはふさわしくないのか、見つかりませんでした。ご存じのとおり「間引き」とは、江戸時代頃まで生活困窮のため新生児を…ということが語源とも。一方で、米沢藩では、間引き禁止の政策が行われていたことが知られています。調べてみると…、なるほど鷹山公の時代でした。小国も米沢藩領でしたから、子どもを大切にしている精神はひよっとすると…と勝手に思っていますがいかがでしょうか。「間引き」をちょっとだけ探究してみました。